

留学だより vol.1

こんにちは！アメリカ合衆国アリゾナ州に留学をしている17期生の近藤里桜です！
私は次世代リーダー育成道場13期として、7/19に日本を旅立ちました。この日は日本の夏休み
初日だったのですが、私の日本での夏休みがなくなってしまったこと、少し残念でした。

【目次】

- ・ 出発からホストファミリーに会うまで
 - ・ ホストファミリーについて
 - ・ アリゾナと日常生活について



出発からホストファミリーに会うまで

正午すぎに成田空港に到着し、預け入れ荷物の申請を行いました。前日の夜に何度もスーツケースを開けなおし、重量制限の23kgギリギリを攻め続けたこと、忘れません。また私は現地でラクロスをやりたかったため、超過覚悟でクロスを持っていくことにし、超過料金2万円を払って飛行機に乗せました。そのあとは、涙を流しながらも家族やたくさんの友達に最後の別れを告げ、手荷物検査へと入りました。

9時間半のフライトを経て、まずはサンフランシスコ空港に到着。トランジットの飛行機の時間まで、約3時間ほど暇つぶしをし飛行機へと乗り込みました。しかしここで1つ事件発生。機長さんから、「この飛行機は壊れていることが分かったため飛行することができません」と告げられたのです。シカゴからの代替の飛行機を待つ間、飛行機の遅延になぞの乾杯をしたり、なんじゃもんじゃで遊んだりと各々時間を潰しました。

そして現地時間、深夜0時頃ついにフェニックス空港へと到着しました。荷物を受け取り、バスでホテルに到着した時間はなんと深夜1時30分。移動だけでほぼ丸1日使いきり、本当に疲れました。



壊れていた飛行機からの写真



飛行機の遅延に謎の乾杯



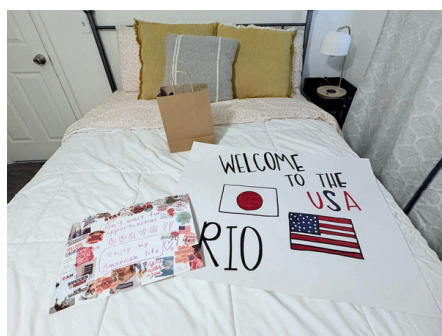
深夜1時過ぎにホテルへ向かう
バスの車内



研修を行ったホテル

到着した翌日の午後から約2日間の研修を行い、ようやくホストファミリーと対面です。

Welcome to the USA, RIO と書かれたボードを掲げ、笑顔で出迎えてくれました。



ホストファミリーについて

家族構成はホストマザー・ホストファザー・2歳のホストシスター（話すことのできる言葉は、Mommy, Daddy, Yes, Nope, Pleaseなどの簡単な言葉だけです）

この3人に加えて、私がホストの家についてから1週間後にドイツからの留学生が来ました。学年は私よりも1つ上でyear11です。そしてドイツからの留学生が来てから2日後になんと、同じくドイツから去年留学をしていた子が来ました。今ドイツは夏休み期間中で、この期間ホストファミリーや友達に会うために、今年の誕生日プレゼントをこの旅行にしたんだ、と話していました。

ホストマザーは長女なのですが、2個下の妹（9歳の女の子のお母さん）と年の離れた弟（19歳）がいて、このファミリーはみんな近くに住んでいます。初めて会ったときは、1人ひとりの名前を覚えるのに一苦労でしたが、今ではマザーの妹にBest friendだよ！と言われ、家族全員と親しくなることができました。なにもない日でも、誰かがふらっと家を訪問してくることは日常茶飯事です。



↑ホストマザーの家族と一緒に、2時間のドライブをしてPrescottという小さな町に行きました



↑カードゲームで遊んでいる時の様子
毎週日曜日の夜はマザーのお母さんの家でご飯を食べるのですが、その時には毎回カードゲームで遊んでいます。



←マザーの妹の子供とそのいとこ
7月末にいとことその家族がユタ州から会いに来ていました



日曜日に教会でタコスランチがありました→初めて教会に行ったのですが、とても英語が難しくて内容はほぼ理解できませんでした

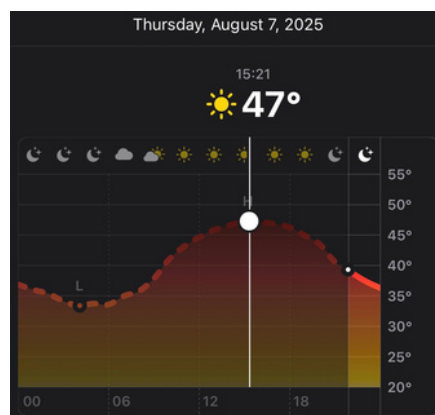
ドイツから遊びに来ていた子が帰国する日の前日の夜は、2人で抱き合って泣きました。出会って3週間ほどでのお別れでしたが、この子のおかげで学校初日から友達を作ることができたりと色々な面で助けてもらい、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。いつかドイツに会いに行きたいと思います！

アリゾナってどんなところ？

ここで私が留学しているアリゾナ州について少しだけ紹介したいと思います。アリゾナ州を一言で表すなら、**とにかく暑い！！**右の写真のように8/7には47℃になり、今年最高気温だったそうです。暑いことに加えて乾燥もしています。平均湿度は35%ほどですが、一桁や10%代のことも多くあります。

学校で教室移動のために外を歩くだけで、乾燥して喉は渇き、強い日差しの影響で皮膚が焼けているのを感じ、外を歩くのは正直5分が限界です…

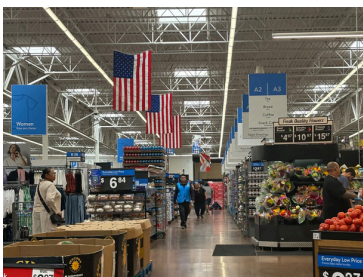
外の気温が40℃を超えていても、教室やスーパーなど室内に入れば、どこも20℃前後の冷房でキンキンに冷えていて逆に寒いくらいです。どうしてこんなにも冷房の効きがいいのかが毎日の疑問です。また、プールに入った時には、しっかりと日焼け止めを全身に塗ったはずなのに、くっきりと水着の線が肩に入り、しまいには皮膚が剥けてしまうという事態にまでなりました。



日常生活について

到着してから学校生活が始まるまでの1週間程度は永遠に時差ボケに悩まされました。寝ようと努力しても、眠りにつけるのは、日付が変わった朝の3時や4時…この期間は、何か特別なことをするわけでもなく、ただただ時差ボケと戦いながら、テレビでディズニー映画を見たりして少ない夏休みを楽しみました。アリゾナは本当に暑いので、動き出すのは日が暮れるころです。(←私のファミリーだけかもしれませんが) スーパーへ買い物に行ったり、Pickel ballというテニス×卓球のようなスポーツをしたりもしましたが、基本夕方6時を過ぎてから行っていました。

アメリカは本当に車社会で1人では基本どこにも行けません。私が住んでいるところは都市部よりではあるため、家の近くにバスや電車も走ってはいますが、バス停や駅までは徒歩20分とある程度の距離があります。ただ車で10分ほどの場所にはスーパーマーケットやいくつか大きなショッピングモールがあるため、よくそこへ行って食材を買いに行ったりもしています。

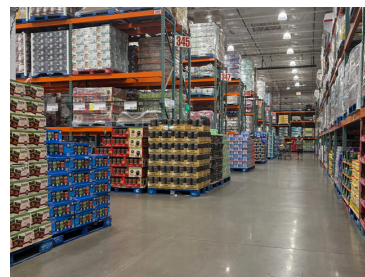


Walmart



Starbucks

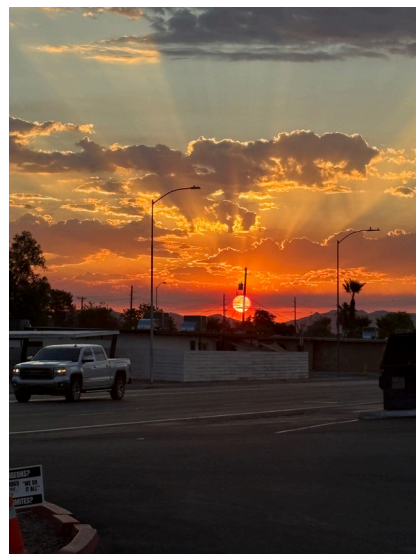
日本の倍以上甘くてびっくりでした



Costoco

平日、学校がある日は6時40分に起きて、7時38分発のスクールバスに乗ります。しかし、このような普通の朝を迎えられるのは週2回のみ。私は学校でPomというチアと似ているスピリットラインのチームに参加していて、このチームでは火・水・木に朝練と火曜日の放課後に筋トレがあります。朝練が始まる時間は6時で、週に3回は朝4時30分頃に起床して、5時40分に家を出るという生活をしています。

右の写真は、初回の朝練の日に見た日の出の写真です。毎朝違った空の様子が見れて、スマホのフォルダーは朝日の写真でいっぱいです。こんなに朝が早いのに、これまで一度も寝坊せずに4時台に起きれている自分にびっくりしています(笑)少しでも睡眠時間を伸ばせるように、どうにか頑張って身支度の時間を削る方法を編み出すことが今の目標です！



放課後はスクールバスに乗って家に帰り、宿題をしたりのんびりしたり、友達と遊びに行ったりと日によりますが、充実した時間を過ごしています。

私の1日のスケジュールなど学校生活に関することは次号で詳しく書きたいと思っています！

最後に、最近あったこととアメリカに来て1ヶ月目の感想を書きたいと思います。

最近あったこと

・(日常生活のところでも少し話していますが) 学校が始まって1週間が経ったところにPomのトライアウトを受け、なんとVarsityという学校代表チームのほうに合格しました!! チームの中で初心者は私のみ、毎回色々な技やダンスを吸収し続け、朝も早く...と大変な日々が続いていますが、掴み取ったこのチャンスは逃さずに、アメリカンドリームを1つ叶えられるようにこれからも頑張ります!

・10月の秋休みに、カルフォルニアディズニーに行くことが決まりました! ずっと夢だったアメリカのディズニーに行けることが決まり、本当に嬉しいです。この旅行を目標にして、休みに入るまでの残りの学校生活も頑張っていきたいと思います。

アメリカ1ヶ月目の感想!

・単位の変換が色々大変!

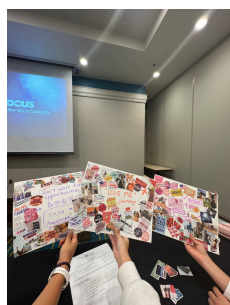
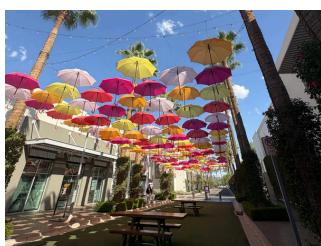
例: 気温の℃が°F・靴のサイズなどのcmはinch・体重や物の重さのkgはpound・水の量などのℓはoz
100°Fが37-38°Cであることは学びました。それ以外はひとまず、靴のサイズなど自分に値するものは最低でも言えるように、スマホにメモしました。

・やっぱり円安...

\$を円に変換して驚き、買うことを諦めてしまうという生活の日々です。欲しいものはたくさんあるのですが、ほとんど手を出すことはできずにこの1ヶ月は終わりました。

・How is your day going? やYou look so cute!, I really like your outfit!は会話の初めの1歩!

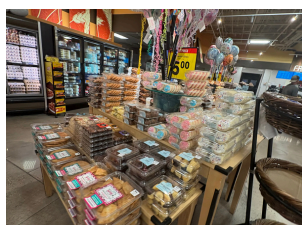
お店の店員さんであったり、知り合いでなくてもその人の服装などが気に入ったら、すぐに話しかけます。それがアメリカン!! この環境だからこそ、学校で友達を作れたような気もしています。



正直に言うと日本を旅立つ前は、行って数日でホームシックになり涙を流すと思っていました。しかし! そんなことにはなりません。毎日ほんとーに楽しく過ごしています! 私が楽しく生活をできているのは、ホストファミリーやその家族、友達を紹介してくれたドイツの子など、重要なスタートダッシュの1ヶ月目に私との関係を築いてくれたすべての人のおかげです。これからも沢山人への感謝を忘れず、楽しく留学生生活を過ごしていきたいと思います!



最後まで読んでくださりありがとうございました!
次回は学校生活について書く予定です。それではまた来月!



17期 近藤

